

JSL 日本語指導教育研究会通信

(JSL= Japanese as a second language)

令和6年 第2号
発行者 会長 池田 いくみ
日本語指導教育研究会 事務局

○第2回研修会

日時：令和6年5月22日 14:15～16:30

場所：オンラインミーティング

<日本語指導教育研究会総会>【書面開催】

日本語指導教育研究会総会についての説明がありました。今年は書面開催となり、後日規約に基づき、総会の議案が議決されました。

<本研修・小中別研修>

【小学校部】グループ研究

小学校部では、事例、手立てなどについてこれまでの成果や課題を出し合い、基本的な指導プログラムや事例集・教材などの開発をしたり、指導実践したことを修正・改善したりする研修を通して、日本語指導担当者の指導力・実践力を高め合うことを目的とした研究に取り組んでいます。テーマは「文字指導」と「ICTの活用」で、2カ年の計画で研究を進めています。今年度は、2年目のまとめの年となります。各グループの研究テーマは以下の通りです。

A	文字指導の学習プログラムの作成と実践 ～週1回の指導における文字指導の学習プログラムの開発と実践(小4漢字教材)～
B1	ICTを活用した指導事例集の作成と実践 ～教科の領域ごとの積み上げ教材の開発～
B2	ICTを活用した指導事例集の作成と実践 ～デジタル教科書を効果的に活用した授業づくり～
B3	ICTを活用した指導事例集の作成と実践 ～教科との統合学習のためのデジタル教材の開発～

今回は、グループごとに研究内容を確認し、具体的な内容を焦点化して研究の進め方を話し合いました。

【中学校部】進路実績報告・教材開発についてのグループセッション

中学部では、春吉中学校香田先生からの進路実績の報告と「学習支援に活かせる教材」についての研究テーマの設定の話し合いがありました。

香田先生からは、令和5年度卒業生の進路状況、福岡市内で日本語指導を受けた生徒の過去5年間の進路状況、高等学校等進学(卒業)後の状況についての報告がありました。そのなかで、私立高等学校進学者が7割近くを占めることや通信制高等学校進学者が増加傾向にあることなどが報告されました。今後の課題として、高等学校を中途退学している生徒が一定数いることが挙げられました。中途退学の状況についての調査を進め、数を把握していくことや退学理由についても明らかにし、高等学校進学前にできる支援を検討していくことが必要とのことでした。

中学校部会の研究は、多様なJSL生徒の実態に応じて、適応指導、学習指導、進路指導といった実践的な指導力を高めることを目的として3カ年計画で進めており、今年度は2年目にあたります。昨年度に抽出された課題の分析→重点課題の設定→課題解決のための方策の検討→プランニング→取り組み→効果の検証→モニタリング→次年度へのフィードバックと実践報告という流れで研究を進める予定となっています。